



めろん組だより  
臼井幼稚園  
令和6年12月16日  
発行

今年は急に真冬が到来したまま居座り続けています。インフルエンザもそろそろ東京で流行し始め、近隣の小学校では学級閉鎖との情報が。せっかくの冬休みに罹患しないよう、手洗いうがいの徹底とあいうべ体操をご家庭でもぜひ食事前に実践してください。。

<お詫び>

2年連続、この時期に、こんなお詫びを書くのは何の因果かと思いますが、にじ組の担任が体調を崩し、少し前から休んでいます。12月中は休職とし、1月からの復帰を見込んでいます。2学期はあと僅かですが、にじ組は伊東恵理がしっかり守ります。3学期の復帰が難しい可能性を加味して、発表会のピアノの練習もはじめていますので、ご安心ください。

<バザーの純利益のご報告>

純利益は298,456円でした。  
この収益で各クラスに新しいブロックを197,340円で購入しました。残りは幼稚園で子ども達のために有効に使わせていただきます。バザーへのご寄付、SOSの皆さまのご協力、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

<エジソン箸の使用を控えてください>

幼稚園にエジソン箸を持ってきて使っているお子さんもちらほらいますが、エジソン箸やその他の補助箸はあくまでもお箸を使い始める子ども（2, 3歳まで）のための補助具です。正しい持ち方ができるようにはなりません。  
臼井幼稚園では思い切ってエジソン箸を控えてもらうよう、保護者の皆さまにお願いします。子どもは大きくなるにつれて手先が器用になり、細かい作業もできるようになっていきます。使いやすいお箸のおすすめは、六角形のお箸です。  
使っていることが当たり前になっていることやものをこの機会に見直していただいただけませんか。

\*\*\*\*\*

先日、2024年4月長野県佐久市に開校したさやか星小学校を視察に行ってきました。この小学校は行動分析学をもとにして、デジタルツールを駆使した新しい教育を実践する小学校です。創設者は

URAPAGEで時々本のご紹介をしている奥田健次先生です。

「世界でひとつだけの子育ての教科書」

「子育ての本当の原理原則」などの著者です。

「本当に子ども達のためになる教育ってなんだろう？ひとつのものをさして子ども達をジャッジせず、それぞれの強みを伸ばすことに注力することだ」教育の「あたりまえ」を変えていく、新しいチャレンジをしている学校です。さやか星小学校の掲げる“マルチものさし”の考え方があたりまえでない今の教育現場を、私自身も疑問に思い、幼稚園を卒園してからの子ども達の行く末を案じているところです。そして臼井幼稚園で行なっている教育が“マルチものさし”であるかどうか？子ども一人ひとりの価値を引き出し、お互いを尊重しあい、自由な心で生きていけるように、教育できているか？確認したかったのです。さやか星小学校には教育理念に賛同して移住してこられたご家族が半数ほど来ているそうです。こういう特色のある学校が、日本の教育のスタンダードになっていけばいいのに！と思いました。そして、臼井幼稚園の教育は間違っていない！と確信しました。

よいお年をお迎えください。

園長 志田裕美子

<年少 今月の目標>

- 健康・・・縄跳びの使い方を知る。
- 人間関係・・・友だちの気持ちに気づく。
- 環境・・・身近な自然に触れ、季節を感じる。
- 言葉・・・思っていること、伝えたいことを自分から話す。
- 造形・・・三方、壁面
- 音楽・・・<1月>「豆まき」「こんこんくしゃんのうた」「すうじのうた」  
<2月>「宇宙船の歌」「うれしいひなまつり」「山口さんちのツトムくん」  
<3月>「はたけのポルカ」「そうだったらいいのにな」

<2ページへ続きます>

### <担任から今月のメッセージ>

先日、園庭で遊んでいると「今ね、人間ごっこやっているの」と言われ、思わず吹き出してしまいました。遊びに混ぜてもらえば良かったです。愉快なめろん組ちゃんたちの発言に、毎日笑わせてもらっています。

ようやく冬らしい季節になってきましたね。園庭に実っているみかんも、どんどんオレンジ色になり「先生こっちに来て、みかん美味しそう…」と外に出る度に教えてくれる子がいます。この手紙が出る頃には、みかん狩りが終わっていると思うので、「甘いみかんだったよ」と感想が言えるような、甘〜いみかんになっていますように。

ミニミニ運動会がやっとやっとできました。しかも、快晴で日差しが温かい絶好のミニミニ運動会日和でした。

「秘密の特訓しようよ」  
「えっ、何それ。やりたい！やりたい！」  
前日に子どもたちと、リレーでバトン回しをする時、どうすれば早くバトンを回せるか作戦会議を行ないました。  
「バトンがどこにあるかわかると早く回せそうだね。どうすればいいかな？」と尋ねただけで、  
「走っているお友だちを見る」  
「バトンを回す時にはいって言う」  
「アンカーが帰ってきたら座る」  
と、たくさんの答えが返ってきました。話し合い後、教室内でバトン回しのみやってみると、速く回そうと意識する子が増えました。

「明日のミニミニ運動会頑張るぞ！エイエイ、ゴー！！！」と新しい気合いの入れ方をひとりすると、みんなつられて「エイエイ、ゴー！！！」コールが止まりませんでした。

当日の朝、少し緊張している子たちもいましたが  
「ママにかっこよく走るところ見せるんだ。」  
「今日はね、ママと泣かないでバイバイできるよ」  
と、笑顔で教えてくれる子もいました。

最後の最後まで自分の力で一生懸命に参加する子どもたちを見て、10月の運動会よりもこんなにもできることが増えていたんだなと胸が熱くなりました。

保護者競技では、たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。大人の全力、子どもたちもしっかりと見ており、部屋でも「うちのママ、いつも走っているから速かったよ」と嬉しそうに自慢していました。

ご協力、たくさんのお応援を本当にありがとうございました。

3学期にみんなが笑顔で元気に登園してくれることが1番の喜びです。

どうぞ、素敵な冬休みをお過ごしください。

安西 美怜

